

アマダイ通信NO. 125

(Tile fish network letter) 2018年梅雨の晴れ間に

知人・友人各位

先日神田で開かれた日大全共闘結成 50 周年記念集會に参加。折から日大アメフト部の事件。半世紀前、日大の仲間があれだけの民主化闘争を繰り広げながら、まだ残る闇。東大もどれだけ変わったのか？来年は安田講堂攻防戦から 50 年。全共闘世代も後期高齢者に仲間入り。このまま「社会のお荷物」として座して消えゆくのか？若い世代と連帯、余力を振絞り、多少は社会に貢献、「社会的けじめ」をつけ、旅立つのか？来年、全共闘運動 50 周年のイベントを持てればと準備を始める。関係各位のご協力をお願いします！

◎キャッシュレスジャパン遠く

4 月 29 日（土）、8 時くらいだという関越高速の渋滞を避け、晴海のマンションを昼近くに出る。間に合えば GALA で少し滑ろうと、スキーを積むが、高速に乗りスキーウェア忘れたことに気づく。三芳の SA でお握り食べたくなり財布のないのに気づく。痴呆症の始まりか？転ばなきゃいい、スキー靴と板積んでるからジーンズで大丈夫。定期入れに入った Suica 付きのビューカードでお握りとコーヒーもゲット。湯沢の駅に行けばビューカードでキャッシング出来ると急ぐ。GALA の駅にはあるが、湯沢にはビューカードの ATM がないと駅員。今年は雪不足で GALA は閉鎖したと追い打ち。リフト券、マンションのレストランの支払は現金が必要。ビューカードで駅ナカの第四銀行の ATM でキャッシングしようとするが出来ない。セブンイレブンならと駅外のセブンの ATM にビューカードを差し込むが、空しく戻るだけ。駅前の観光案内所でサラ金がないか？聞くがないという。参った。

マンションの食堂は止め、スーパー野口で惣菜とビールを買い部屋で一人酒だと、レジに並んでビューカードを出すと、機械に反応しません、磁気が弱くなってるんじゃないですか？と、買物は籠ごと没収される。参った！釣り好きの友人も湯沢に来てないか？電話が繋がり、1 万円くらいならどうにかなるといふ。折角だから鍋でもして一杯やるかとなり、借りた 1 万円札握りしめスーパー野口に引き返し、330 グラム 2 千円のしゃぶしゃぶ用牛肉パックを買う。今度はビューカードでレジを通過する。牛肉と好きなサッポロ黒ラベルをぶら下げ、坂道を 20 分ほど下り岩原のビクトリアタワー近くの友人のマンションへ。溪流釣りの友人と久し振り一杯、タクシー呼んで帰る。

翌朝セブンでサンドイッチと鮭お握り 1 個、コーヒーを Suica。残金で奥只見丸山のリフト代と昼飯代は大丈夫と関越に乗る。去年の連休、トンネルの中で居眠り運転、車をオシャカにした事故の轍は踏むまいと、石打パーキングで缶コーヒーを 2 本 Suica。雪が融けたばかりで田植えはまだ、新緑の美しい道を走り、22 キロのトンネル道の手前でスキー靴忘れたことに気付く。駐車場入口で手元不如意なので、靴のレンタル料、リフト代など聞き相談。スキー場オーナーの電源開発の新規事業の井水利用専用水道の営業を手伝っていると口を滑らすと、千円の駐車代を免除してくれる。優しい娘さんが更に可愛く見える。靴のレンタル料が千円浮く。食事とワンドリンク付き 4 千円のシルバー 1 日券で、リフト券と飯ともつ煮の間に千切キャベツ敷いた名物？魚沼モツ井と生ビールをゲット。残り 4 千円少し、どうにか夜は部屋で一人酒しなくてすむ。シーズン末期、ザラメ雪とデコボコ

だらけのコースで難儀するが、3本リフトを乗り継ぎ視界360度、電源開発奥只見ダムも望む奥只見丸山山頂から6度、時にスキー履いて登り坂もrun、林間コースもクネクネ。コース外の樹間もスイスイ。穴ボコだらけの急斜面は穴を避けてどうにか滑り降り、を繰り返す。雪質にムラがあり、急にスピードダウン。なんてことのない斜面、慣性の法則が働きスキーは後、体は前のめりになって一回転を3回ほど。春スキー満喫、マンションの大浴場で汗を流し、爺婆食堂で瓶ビールを2本していい気分。残金ジャスト800円。翌日、連休3日目の小川カントリーでの仲間とのゴルフ代はビューカード。キャッシュ万能、キャッシュレス後進国日本で、ゴールデンウィーク前半は財布なしで無事終了。

◎世界を変える？「貧テック」！

メルカリなどのフリーマーケットアプリで不要物を売り、他方で必要な物を安くゲット。給料日前にお金が欲しい時には給料前借りアプリのPaydayで働いた分の給料を前借り。不要な物の写真を撮ってスマホで送れば即座に鑑定して買取り、銀行口座に現金が振り込まれる「CASH」アプリなど、経済的余裕のない人や余計な出費を極力切り詰めた人が「フィンテック」を活用することを「貧テック」というらしい。🐼は未経験だが、手元にお金がなくとも、取り敢えず現金が手に入り生活出来る。昔の無尽（頼母子講）や質、サラ金などの庶民金融、小口金融の役割を、スマホのアプリという手段でより手軽に利用できる。サラ金の規制強化で失われ、その後増えたサラ金まがいの銀行の無担保、用途自由の個人融資、カードローンでもカバーされない4兆円の市場があるという。

銀行口座を持つ人も少ないフィリピンなどの途上国では更に大きな役割を果たせる。サイドカーのように客席をつけたり、三輪車のようなバイクタクシーを従来より安い金利で割賦販売、スマホで返済する。債務不履行になるとバイクにつけたシステムでエンジンを起動出来なくし、貸し倒れが少なく利息を安く出来、オーナー運転手を増やし、生活の向上につながる。バングラディッシュのグラミン銀行から始まったマイクロファイナンスのシステムに通じるが、グループの連帯責任をベースとするのではなく、個人の事業継続の意思をベースとし、スマホのアプリで事が完結する。

従来の金融や通信のインフラが未整備でもスマホさえ操れば、一足跳びに手軽に新しい金融サービスを受けられ、より豊かな生活を享受出来る。貧困層も新しいシステムを使うことで、便利で豊かな生活を享受出来る。新しいアプリを開発、プラットフォームをつくった人間は薄く、広く課金することで、或いは多くの利用者を対照とした広告で莫大な利益を手に出る、結果として少数の者に富が集中、格差が広がる。「第4次産業革命」による生産性向上の利益を少数の者が寡占するのか？人類は「類的存在」である故、遍く「足るを知り」、労働時間の短縮や所得の向上という形で、地球上に広く恩恵が及ぶのか？遂には「能力に応じて働き、必要に応じて取る」世界が実現するのか？格差が極大化したら、圧倒的多数の「貧者」が立ち上がり、天地がひっくり返る。その時こそ平和で豊かな世界が実現しないか？日本より従来の金融や通信のインフラが未整備なので逆に一足飛びに貧テックで先を行く、中国の「電腦社会主義」はどの道を行くのか？

◎湾岸はマンションバブル？

晴海埠頭によく見る大型客船。その手前、我が家の目と鼻の先はオリンピックの選手村。

数十匹の蟻螂が斧を構えるかの如くタワークレーンが林立。オリンピックが終われば改修の上で、大手デベロッパー数社から4、5千戸の分譲マンションとして売り出される。バブルだと言われながら、晴海や勝どきでは超高層のタワーマンションが次々建つ。オリンピック村で眺望は悪くなるし、そんなに売り出されたら市況も下がるかな？自分の住まい以外に、投資用に複数戸持っている訳ではないのに、多少は気になる。

ふと目に入った新聞の折り込みチラシに「ザ・晴海レジデンス 9480万円、南西×北西角部屋、20階建ての11階、94.37平米」とある。平米100万円、坪330万円。条件が違いアバウトだが、リーマンショック後の不況時に坪230万円程で買った家も今では8500万円程の価値。80才までの17年で組んだ2500万円程のローンの残額も2千万円を切る。今売れば6千万円のキャッシュが手に入り、「老後の備え」になる。

しかし、売ってしまえば住む所がなくなる。スキーが趣味だから、越後湯沢でも不便な苗場スキー場辺りのリゾートマンションなら10万円ほどで買えるが、東京に通えないと「生涯現役」は難しい。多少奮発して越後湯沢の駅前マンションでも手に入れば、町の通勤補助もあるので、新幹線通勤もいいかも知れない。だがそれでは今や無上の楽しみとなっている孫息子との保育園への同伴出勤が出来なくなる。

老夫婦二人住まいの3LDKのマンション、一部屋は物置になっている。取り敢えず売って近くに2LDKの小さいマンションを買い値上り益を一部現実化、「老後」に備える。或いは賃貸マンションを借りて住み、3年後孫息子が小学校に上がり同伴出勤が必要なくなった頃、バブル崩壊と供給過多で安くなった小さなマンションを残ったキャッシュで買うという手もあるが、譲渡差益は税金でもって行かれそう。いつバブルが弾けるかというのもよくわからない。中々リスクは読めず、悩ましい。

◎道草・運河にクラゲ！

孫息子と和君、3才になって風邪も引かず、お陰様で毎日同伴出勤を楽しむ。保育園は変わらないが、3才児クラスは運河を隔てた2階建ての戸建ての分園。歩いての同伴出勤にもすっかり慣れ、最近はずっと握りしめていた爺の手を離して一人で駆け出す。出来るだけ会話しながら歩く。紫陽花や蝶、犬を見ては道草。ビルの谷間の橋の下は生気のない淀んだ運河。白とオレンジのお腹を見せてヒラリヒラリ泳ぐエイや白い腹を見せて浮かぶくたびれたボラ？の骸をたまにみかけては興奮。食が細く、食べるのも遅く、給食を時間内に食べきれず、片付けの時間が来て泣き出すこともある。給食を食べないと病気になって、お腹出して浮かんでたお魚の様に死んじゃうよ！と爺。このところ毎朝、白く透き通った体をわずかにくねらせて漂うクラゲを見つけ歓声を上げる和君。

9時に営業先とのアポが入っているというのに、あっちこっち行ったり来たり、爺を引っ張り廻し、道草を楽しむ。種を蒔いたのは自分と苦笑しながら、爺も楽しむ。運河の橋の上ではクラゲ探し。岸近くの浅瀬の底近く、小魚がお腹を光らせ躍るのを見つけ、「さかながひかっている」と動こうとしない。

保育園で紙飛行機作って遊ぼう！というのと、ようやく欄干から突き出した頭を戻し前向きに歩き始める。それでもマンホールみつけては幅跳び、アリンコみつけてはお話。週末から貯めた朝日と日経新聞の折り込みチラシを広げ、保育園で爺は紙飛行機作り。和君のお友達が爺の前に列。飛行機を作ったあげた筈の女の子が突然大泣き、泣き止まない。

その子の紙飛行機を和君が取ってしまったようだ。チビのくせにやる！と思いながら、「孫の不始末は爺の不始末」。もう一機作ってあげると泣く子も黙る。

淀んだ運河で喚声上げる孫息子が不憫、本物の自然を楽しませて上げたい！爺が感性を育くんだ環境の幾ばくかでもと、橋を孫息子と渡る度に思う。この夏のお盆休みも小3の孫娘を連れて故郷秋田の白神の海で、「素潜り教室」をする予定だが、3歳の孫息子ももう少し「大人」になって、同伴できるようになると嬉しいが、その前に何か出来ないか？

◎「癒しの楽園南インド紀行8日間」(Ⅳ・完)

('17.9.16 ~ 23、クラブツーリズム)

⑦インド最南端の地で泳ぐ！

マドゥライを発ち6時間ほど、コモリン岬一番のホテル、スパルサリゾートの中庭のプールを独り占め。我は海の子白神の！泳げる場所と時間があれば世界中で泳ぐ。水を得た魚となり、身も心も洗い、解放されるが、誰も続く者はいない。インド最南端の地コモリン岬はインド洋、アラビア海、ベンガル湾がぶつかり、水飛沫の先から陽が昇り、半日地上に光をもたらし再び海に沈む。東西に海がある半島の先端なら、南アフリカのケープタウンやカリフォルニア半島でも海から陽が昇り、海に沈むが、ここがインド唯一の場所で、ヒンズー教の聖地とされる。日没と日ノ出の時刻には沐浴する人も多いという。

夕陽を鑑賞するまでは間がある、インド最南端の都市カニヤクマリ市内観光に。人口3万人弱の小綺麗な町だが、一面にブルーシートのスラムがある。高台の町の中心の広場には中学生くらいだろうか、ミッションスクールの子供達がグループでお喋りしながら家路を急ぐ。そんな子供達と何枚か記念写真。洒落たアパレルや土産物を売る店が軒を列ねる。バスと徒歩でコモリン岬、インド名カニヤ・クマリ(処女岬)へ。ヒンズー教の聖地で、沖合のビベカナンド岩にはマルコ・ポーロの旅行記にも記された有名なクマリ寺院。ガンジーの遺灰はここから流された。その記念堂に登る。バラック建ての土産物屋に貝殻細工やTシャツなどの土産物が並ぶ。護岸を降りたその先の磯に、白浪が寄せる。

磯の香りが漂い、砂浜で沐浴というよりは波と戯れる若者も。海パンを部屋に干し、持って来なかったことを悔やむ。海辺に建てられた鉄筋コンクリートの見晴台に登るが、鉛色の海原の先、西の水平線には分厚い雲。雲間から指す木漏れ陽のような夕陽を拝み、明日の日の出を楽しみに、ベッドに潜る。翌朝早起き、再び海辺の見晴台に登る。沖合の浪洗うビベカナンド岩に影絵の様に浮かぶクマリ寺院。背後から紅く輝く後光が昇る。ホテルに戻り朝食後、5日目はバスでケララ州アレッピーまで、6時間のバス旅。

⑧ケララ、日常と非常と

ケララ州にはインド初で最大のIT特区があり、インドの宇宙開発発祥の地でもある。又、電子政府化も進み、「インドで初めて完全にデジタル化された州」と呼ばれ、識字率はほぼ100%。公衆衛生も進み、平均寿命もインドで一番高い。治安も良く、殺人率は一番低い。ケララは教育程度が高く、医者や看護婦が多く、中東などへの出稼ぎで金持が多いというが、国内で才能が活かされないのは寂しい話だ。

ひどいでこぼこ道を進む。学生がバスを待ち、雨上がりの池で、女達が洗濯をする。魚屋が台の上に大小数匹の魚を並べ、3枚におろした魚も。大きく実ったココヤシを木に

登って獲る者も。側溝では鶏が餌を突つき回る。塀があり、大きな門扉の内側には小型乗用車とバイクが、小さな門構えの家にはバイクが、塀もない家には何もない。立派なキリスト教会が2つ近接して立つ。豊かな地区だが格差が歴然。道が狭く、バスがやっとすれ違ふ。建築現場には何故かカカシが吊るされ、道路に土砂を置き工事をするので、道が塞がれ大渋滞。黄土色の川では沐浴と洗濯。町の広場では野菜市。樹間の広場で織物市。サリー用か色とりどりの布が売られ、女達で賑わう。レストランの外の2ヶ所のトイレで用を足す。燃料は薪とプロパンガス。レストランを出ると、突然道路が4車線に拡大、バスは快走。ケララ州政府は共産党が握り、土地収用に反対で、中々道路が出来ない。高速道路の工事現場では過積載のトラックが轍にはまり大渋滞。5日間雨が続き晴れたので車が多いという。道路脇の露店の屋台にカツオ様の魚。目的地近く、緑が多いバックウオーター（水郷地帯）を走る。椰子の木が多い深い森では香辛料が採れる。この香辛料を目当てにオランダやポルトガル、そしてイギリスがインドに来た。

幹線道路を離れ、狭い道に入るとアレッピーの船着き場。アレッピーは海岸線の白い砂浜と椰子の緑、ヨーロッパの植民者が残した古い教会で形づくられた美しい街。かつてのスパイス貿易船を改装、植民地時代を思わせる異国情緒豊かな、木造のハウスボートがあちこちに繋がる。船着き場を離れ「本流」へ。各々に趣向を凝らした、おびただしい数のハウスボートが行き交う。舳先のデッキのテーブルにゆったり構え、インド産マンゴーと特産の紅茶でティータイム。入江か？湖や潟か？幾枝にも分かれた運河や河か？それら全てか？岸边では魚釣りや、野菜洗いや洗濯や、お喋り、自転車やバイクが走り、農作業をしたりインドの農村の日常風景が巡る。行き交う沢山のハウスボートの船上では、非日常が船の速さで、ゆっくりと流れる。パンフレットには「船上から夕暮れをお楽しみ頂き、船の上でジェフが夕食をご用意いたします。」とあるが、今日も雲が多く黒い林のシルエットの向こう、雲がわずかにオレンジに輝き、暮れ泥む。バナナの天ぷらが思いがけず美味しくビールかがすすむ。岸边にも夕食の灯りが点在する。あぜ道のような岸边に停泊、船の舳先に若いカップル。近くのIKEAの家具工場で働くとのこと。緑豊かな森が続く、木材を豊富に産出するからか？ナイル川クルーズ以来の船中泊。翌朝も厚い雲に阻まれ、水上のご来光は拝めず。

⑨コチ、全てはスパイスから

6日目、アレッピーの船着き場に戻り下船、バスで1時間半ほどのコチ（旧称コーチン）に向かう。市街に入ると片側二車線の「高速道路」が、一車線の一般道に変わり、木の枝を屋根でこすりバスは進む。ケララ州の広大な水郷地帯の北端、天然の入江や湖に面し、緑豊か、風光明媚な港町コチ。漁師の家か？庭先に網を干す家々。フェニキヤ人や古代ローマ人、アラビア商人なども訪れ、古くから交易で栄えたが、16世紀以降、オランダ、ポルトガル、イギリスに支配され、苦難の歴史を歩む。現在はインド有数の国際貿易港として発展、現代的な機能と植民地時代の特色ある遺産が混在し面白い。港には建造中の空母も。中国が空母の建造を進めることへの対抗か？周辺も入れると百万は優に越す60万人都市の穴ぼこ道を進む。落果防止か？ネットを張ったココヤシの木もある。

ポルトガル人が建てたヴァスコ・ダ・ガマの墓のある聖フランシスコ教会を見学。イベリア半島の海辺の教会の雰囲気がある。近くのサンタクルス聖堂は20世紀初めの建築。

カラフルな装飾に相応しく綺麗に着飾った結婚式のパーティが行われ、若い男女が大音量の音楽に合わせて賑やかに踊る。未婚の男女のお見合いの場にもなっている。輪の中に入り一緒に踊る仲間も。🍷もカクテルをご馳走になる。イギリスはポルトガル時代の教会を残す。これらの教会があるフォート・コーチン地区は植民地時代の面影が濃く、それが観光に役立つ。ポルトガル時代の1555年にコーチンの藩王のため建てられた2階建て、薄いクリーム色のマッタンチェリー宮殿も見学。1663年に総督邸になりダッチパレスとも呼ばれる。藩王の肖像画や創建当時の家具を陳列、壁にはヒンズーの神話の壁画が何面も描かれ、クラシックな雰囲気が楽しめる。

フォート・コーチン地区の北の砂浜には沢山の巨大な四つ手網。チャイニーズ・フィッシングネットだ。海中に沈めた網をロープで垂直に引き上げると、網の中は魚で一杯、という寸法。14、5世紀、中国の武将・鄭和が伝えたとき、チャイニーズ・フィッシングネットと名付けられた。取れ立ての魚を炙って貰い、ビールを飲めれば最高だが、稼働している網は残念ながら見当たらない。トルコのイスタンブールの大聖堂の前で、目の前で取れたサバを揚げたサバサンド（トルコ語でも！）は美味しかったが、大聖堂の前でのビール販売はご法度で残念だった。この夏も小3の孫娘と白神素潜り紀行をするが、取れ立てのサザエをその場で壺焼きにしてビールを飲むのが楽しみだ。

平屋のクリーニング工場も見学。天井から下がったコードの先の電気アイロンを器用に操り、洗濯物が仕上げられる。三階建てほどの白亜の豪邸の続く高級住宅街、玄関先で二人組の男が、高足のアイロン台の上で、アイロンをかける。クリーニングの出前。コチでもメトロを高架で建設中。南インドの伝統舞踊カタカリダンスショーも楽しむ。女役も全て男が演じ、顔に派手なペインティング、豪華な衣装を身に付けるのは、歌舞伎に通じる。表情豊かに見せるため目にスパイスを入れ充血させる。さすが、スパイスの国。

⑩タンドリーチキン

最終日はサンドイッチ、ジュース、バナナの弁当持参で4時半ホテル出発。7時20分のエアールインディアで、デリー10時25分着。21時15分発成田行きエアールインディアまでたっぷり時間。取り敢えず近くのショッピングモールで昼食後、「タンドリーチキン&デリー再発見」のオプションツアー。通訳のジョンの案内で雨のデリー市内へ。立体交差化の大きな工事現場。インドでは至る所で地下鉄や高速道路、立体交差などの工事が盛ん。

珍しく高架下で暮らすファミリー。20年以上前、初めてインドを訪れた時、デリーの街中至る所「路上で生まれ路上で死ぬ」浮浪者が溢れ、交差点で車が止まる度に物売りや物乞いが殺到、断る度に後ろめたさ。「大金持ちにしてくれると言われてインドで暮らす」より「日本で小市民として暮らす方が心安らかだ」と思う。5、6年前ムンバイ（ボンベイ）を訪れた時、路上で暮らす人間も、路上を我が物顔にうろつく「野良牛」（実際は飼い主がいて、夕方には飼い主の元に帰るといふ）も、白亜の豪邸の白い塀にブルーシートをかけて暮らすホームレスのスラムも見かけず、豊かな「経済都市」ムンバイと「政治都市」デリーの違いかと思ったりした。

この20年ほど、インド経済も高度成長、底辺も底上げされ、「路上で生まれ路上で死ぬ」浮浪者も、交差点の物売りや物乞いも、我が物顔にうろつく「野良牛」も、白亜の豪邸の白塀にブルーシートをかけて暮らすホームレスのスラムも、見かけることが少ない。

それでもデリーの人口が公称 1600 万人で実際は 2000 万人、ムンバイも公称 1900 万人だが、2000 万人以上いると、通訳のジョン君。ビザ不要のネパールやバングラディッシュ、更にミャンマーからロヒャンギャなどの流入もあり、都市は膨張、1 日 1 ドル以下で生活する人間が全体の 25%いるという。富者も貧者も巻き込み、喧騒と共に膨張するインド。骨付きチキンをヨーグルトとスパイスに漬け、タンドリーという土窯で焼いた、インドその物の如く、熱くて辛い名物料理のタンドリーチキンで地ビールを飲みながら、変化の早さを思う。真夜中の 8 時間余のフライトで、明け方、ゆっくりと縮む、並べて豊かな日本着。有為天変の世を思う。(完)

◎「習近平と電腦社会主義の可能性」

・・東大三鷹クラブ第 139 回定例懇談会のご案内

前回「ロシア」の権威袴田さんに続き、今回の講師は現代中国、中国経済の矢吹晋さん (S33 年入寮・安積高校・文 I) です。経済学部を卒業後、東洋経済新報社、アジア経済研究所研究員、横浜市立大学教授を経て、横浜市立大学名誉教授・(財)東洋文庫研究員・21 世紀中国総研ディレクター・朝河貫一博士顕彰協会代表理事として一線で活躍中です。

S41 年入寮の🐞とは大分年齢が離れていますが、入寮早々、三鷹寮と E (中国語) クラスの先輩の矢吹さんから、吉祥寺の北口駅前商店街サンロードの喫茶ルーエで学生運動への勧誘 (オルグ) を受けました。多分その頃矢吹さんは東洋経済の記者をしていたので、学生運動と二足の草鞋を履いていたのだと思います。

当時、中国では毛沢東によって文化大革命が発動され、日本の社会主義運動にも大きな影響を与え、日本共産党から文化大革命を支持する「左派」が分裂、反日共系の新左翼でも文化大革命を支持する社学同マルクスレーニン主義派 (ML 派) が誕生。秋田の寒村の郵便局長の四男は東大、しかも文科 I 類に入って始めてこの世が階級社会だと知り、エリートコースを歩むべきか？社会主義革命によって階級を廃絶、故郷で共に暮らした貧しい農民や漁民と連帯すべきか？悩む。ただ、社会主義を標榜するソ連や中国を知るにつけ、二の足を踏む。文化大革命で毛沢東が、社会主義革命が成功しても、世界革命が成就するまで、革命は永続する！不断革命を！政権は鉄砲から生まれる！世界の農村が世界の都市を包囲する！と叫んだ時、「郵便局の革ちゃん」は革命戦士に変身、母校の正門に「造反有理！」「帝大解体！」の看板を掲げ、バリケードを築き、警察の留置場から中野刑務所まで、猪突猛進。矢吹先輩の薫陶宜しきを得たのかも知れません。

理念は別として、文化大革命は中国社会に大きな混乱をもたらし、中国人民に多大の犠牲を強いました。毛沢東の死後を託された鄧小平の「改革開放」政策で外資を呼び込み、「世界の工場」として、日本を抜きアメリカに次ぐ経済大国に成長、通信インフラなどの未整備を逆手に、携帯大国、シェアエコノミー大国、デジタル大国化。「電腦社会」化で先を行く中国は「電腦社会主義」を実現出来るのか？毛沢東が理想に走り、結果を急ぎ、社会の混乱と国民の大犠牲を来した文化大革命で農村に下放、貧しい農村の実情を肌身で感じた習近平も格差のない中国を目指すのか？社会主義とは名ばかり、史上最強の開発独裁、「電腦強国」が実現、世界に覇を唱えるのか？その時、隣国日本は如何に対応すべきか？習近平の「中国の夢」と「電腦社会主義」を解き明かしてもらいます。

(S41 年入寮 干場革治 記)

日 時 : 平成 30 年 7 月 2 日 (月) 18 時 30 分~21 時
場 所 : 学士会館本館 302 号室 (千代田区神田錦町 3-28 TEL 03-3292-5931)
会 費 : 6000 円 (会場費、夕食代・飲み物代、通信費など込み)
二次会 : 別途 有志による二次会を、すずらん通の中国料理店 SANKOUEN にて開催予定
定 員 : 50 名 (先着順: 定員を超えない限り特に連絡は致しません)
申込先 : 平賀・干場 FAX 03-5689-8192 TEL 03-5689-8182
(有) ティエフネットワーク Email : tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp

◎東大から芸大へ・・・ピアノへの想い断ちがたく！

4月、教養学部生主体の三鷹寮は定員6百人の半分ほどが入れ替り、新入生歓迎会。🐼と寮の近くに住む辰紘先輩(1965年入寮)がOB会を代表、鮎桶を差し入れ、現役の諸君と交流。2008年入寮で数学科から大学院、更にドイツに留学、数学者を目指している筈の唐津君が芸大に入り直したとの情報。同年のシドニー大学からの交換留学生で、言語学者になる筈が日本で歌手デビュー、今売り出し中のサラ・オレインが、寮の音楽祭で歌った時にピアノで伴奏したのが唐津君。ピアノへの想い捨て難く、悩んだ末の大英断。一度飲もうかということで、交流会開催を約束。古い自治寮の頃の三鷹寮では毎年3月に進学生の追い出しコンパが盛大に行われたが、最近は聞かない。本郷に進学した諸君と三鷹の若い諸君の交流も兼ねて、本年度最初の交流会を、6月9日(土)夕方、本郷の中華料理屋「上海厨房随苑」で開催、終わって🐼事務所で2次会。多彩な人材が交歓、盛り上がる。

参加者は、渡邊聡(2008(博士で2015)・理Ⅱ 理学部数学科→京大理学研究科修士→東大総合文化研究科博士・秋田・秋田)、横字史年(2015・文Ⅲ・愛知・岡崎)、青山絵里香(2016・文Ⅲ 文学部東洋史学・愛知・一宮)、洪運蘊(2016・理Ⅰ 工学部建築学科・大阪・北野)、竹内碧(2016・理Ⅱ 薬学部・高知・高知学芸)、白石翔太郎(2017・理Ⅰ・山口・山口)、田近太一(2017・理Ⅲ・北海道)、中島重良(2017・理Ⅰ・福岡・香住丘)、韓東学(2018・理Ⅰ・中国・東北育才学校)、齋藤聖仁(2018・理Ⅱ・北海道・北嶺)、橋本涼太郎(2018・文Ⅱ・大分・豊府)、OB が唐津裕貴(2008・理Ⅰ 理学部数学科・兵庫・淳心学院)、宮本洋之(2008・文Ⅰ 法学部・大阪・洛南(京都))、國枝 明弘【春風亭昇吉】(2003・文Ⅱ 経済・岡山・城東)、井上豊(1968・文Ⅰ・愛媛・愛光)、🐼(1966・文Ⅰ 法学部・秋田・能代)、打林國雄(1965・理Ⅰ 工学部都市工学科・富山・富山中部)、辰紘(1965・文Ⅰ 教養学部教養学科国際関係論・大阪・三国丘)、他に2名飛入り参加。

◎結びに代えて

登坂亮哉君(15年入寮、灘高、文科Ⅱ類、教育学部)から、最新の情報技術を使った幼児教育関連の起業に関する協力要請があり、メールで協力を呼び掛けたところ、沢山の方からご協力を頂き、ありがとうございました。日本では起業する若者が少ないとか、草食系で覇気に欠けるとか言われますが、三鷹寮の若者と付き合くと、結構、ベンチャーに飛び込んで起業を目指したり、いきなり起業する者も少なくありません。今時の日本の若者も捨てたものではないという気がします。一緒に後進の応援をお願いします！

左膝痛で週1で4週ヒアルロン酸を注射、痛みが取れる。隔週に注射をと言われるが、春スキーで膝を酷使?しても、4か月以上痛みなし。皆さんは如何ですか?再見!